



れんけいこうち広域都市圏連携協約締結式(H30/3/28)

② 一次産業の新規分野開拓への支援

事業者が、新たな取り組みに挑戦する際の大きなリスクを低減し、先駆的な事業を展開していくために、行政として事業者に対して支援するもの。

支援の内容は、新規事業となるため、肉付け予算である6月議会で計上を予定している。

③ 移住者支援施策の着実な実行

人口減少対策として、人口の社会増の取り組みは必要不可欠だが、本町では民間の賃貸住宅が少なく、新規転入者のハードルの一つとなっていることへの策として、住む場所を確保するもの。

その他にも、「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に基づく二段階移住のための幡多移住フェアの実施なども予定している。

④ 切れ目のない子育て支援

乳幼児期の家庭での保育、また、乳幼児や小中学生への医療助成などにより子ども達の健康面をサポートするとともに、放課後子ども教室で子ども達の安心・安全な居場所づくりにより引き続き取り組むものなども予定している。

乳幼児期の 家庭での保育に 子どもたちの 健康面をサポート

■在宅子育て応援事業補助金 2492万円
昨年度に引き続き取り組むもの。

■乳幼児医療助成事業補助金 1152万円
■小中学生医療助成事業 1674万円

⑤ 地域での健康づくりと 健康寿命延伸の取り組み

少子高齢化が進み高齢者世帯が増える中、地域コミュニティ内での支え合いが必要不可欠となっている。町内に4ヶ所ある地域福祉の拠点の「あったかふれあいセンター」を6ヶ所での整備に向けて、地域での協議を進めていく。

■定住促進住宅整備事業
1億3800万円
15戸を整備予定。
なお、この事業は、「各次産業従事者の所得向上への取り組み支援」と関連した事業。

■住宅改修促進事業費補助金 1500万円
移住者の住環境整備を図るもの。

■あったかふれあいセンター運営費 4800万円
町内の4カ所の運営費。

■若者健康診査費 67万円
新たに20歳から39歳までの方も無料で特定健診が受けられるようになったもの。



▲整備予定のある「あったかふれあいセンターであいの里蜷川」(旧蜷川小学校)

◀「あったかふれあいセンターかきせ」(旧馬荷小学校)



■集落活動センター整備工事費 791万円
■集落活動センター備品購入費 654万円

Q 宮地葉子議員
前記2件の場所は。

A 宮川 総務課長
整備工事費については、蜷川の「であいの里蜷川」。
備品購入費は、「であいの里蜷川」と、馬荷の「かきせ」の備品の購入。